

藤棚新聞



第77号

2021年(令和3年)

8月20日

偶数月発行

フリーペーパー

接種が進む新型コロナワクチン

コロナ禍における切り札としてワクチンの接種が全国的に進んでいます。ここ横浜でも徐々に接種が進んでいますが、現状はどうなのでしょう。わが藤棚新聞の編集記者の体験をレポートします。

●ワクチンの前提知識

国内で接種が進む新型コロナワクチンは、発症を防ぐ効果は非常に高いとされますが、十分な免疫がつかのは1~2週間後といわれています。接種しても防ぐ確率は100%ではないので、引き続きマスクの着用と人との距離を取りたいですね。

「熱がでた」「腕が痛い」等の副反応は一回目より二回目の方が多ようです。味覚、嗅覚の異常あるいは動悸、息切れがある場合もありますので、その場合はすぐにかかりつけ医への受診をお勧めします。

●レポート

編集記者A 70代 男性

記者のコロナワクチン接種は1回目6月6日、2回目7月4日のどちらも17時45分で、接種会場はハンマーヘッドでした。桜木町駅から送迎バスで会場まで5分程です。海を間近に見る会場には次々と人びとが吸い込まれて行きます。入るとすぐにびっくりするほど大勢の案内係が目につきました。広い会場にはたくさんの椅子が並べられて、その周りに接種のためのブースがつながっていて、接種時刻別の椅子にはすでに到着した人びとが順番を待って整然と座っていました。ちょっと不安そうに立っている人を見かけると、すぐに案内係が声をかけてきます。座るところや次に行く場所をタイミングよく案内してくれます。接種が終わると一人一人に座って様子を見る場所を案内してくれました。こうした対応は1回目も2回目も同じでした。大勢の案内係のおかげで会場の中は終始落ち着いた雰囲気と比較的静かでした。

周りの人から2回目では接種が終わった後、体に異常が出やすいなどと聞きましたが記者の場合はそうしたことはありませんでした。変異株が増えてきて感染者が急増してきました。接種したい人が接種できるようになるといいですね。



【大規模接種会場ハンマーヘッド*】



【ハンマーヘッドパーク】

編集記者B 60代 男性

予約センターに何度も電話してもまったく通じませんでした。あまりに繋がらないのであらかじめかかりつけの医院にかけたところ、普段かかっているから優先されたのかわかりませんが、空いている日の指定を受けることができました。予約センターシステムの向上を図ってほしいところです。

編集記者C 40代 男性 編集記者D 30代 女性

40代は8月16日より、30代は8月23日より予約が開始されています。

●いかがでしたでしょうか。接種を受けた方も、予約方法や場所により、さまざまな風景のようです。若年層はまだ接種がいきわたっていない現状が浮き彫りになりました。

今後のワクチン接種の状況を藤棚新聞としても追いかけていきたいと思えます。

※記事は令和3年8月20日現在の状況に基づいて執筆しています。 *ハンマーヘッドでの接種は現状モデルナ製が使用されています。

社会的にも健康を目指そう！あなたにとって「健康」とは？

今月は6月号の「地域の健康～母として、管理栄養士としてよりよい地域づくりを～」の第2弾です。

現在、コロナで世界中が苦しんでいます。振り返って私達の健康ってどんなものだと考えられているのでしょうか。いろいろな定義があるようですが、WHO憲章では「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。(日本WHO協会訳)」(原文:Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.) 地域での助け合いを増やすなど社会的な健康を目指していきたいですね。

この定義を念頭において、今回は西区中央にある横浜デザイン学院にお邪魔しました。かねてより西区役所のにしとも広場でのイベントで記者と交流をもっている同校への留学生の上土井健太郎さんにお話を伺いました。上土井さんは総合日本語科に所属しています。語学を学ぶだけでなく、マンガやデザインに力をいれているこの学校の校風が気に入って今年入学しました。上土井さんは料理を作ることが好きで、今回はこの記事のシリーズ「今月のレシピ」を提案してもらいました。

「今月のレシピ」マグロのpoke丼

♪上土井さんの提案♪ ハワイに行った気分を味わおう

「毎日暑い日が続きますね。今回、ハワイ料理の一つマグロのpokeをご紹介しますと思います。去年も今年もなかなか旅行に気軽に行けるような雰囲気ではありませんが、すこしでも海外旅行に行ったような気持ちになっていただけるのではないのでしょうか。」



おすすめポイント！

- ★薬味(ゴマ、大葉)やアボカド、オクラなどをプラスすると風味豊かに！
- ★火を使わなくて済むので、暑い日にも調理楽！
- ★切り身を使用すると包丁なくてもOK♪
- ★たんぱく質や赤身に含まれる鉄分も豊富！

材料：まぐろ 100g ネギ 玉ねぎ半分
醤油大匙2 みりん大匙1 ゴマ油少々

作り方

- ① マグロを適当な大きさのサイコロ状に切る
- ② ネギ、玉ねぎを食べやすいように切る。
- ③ 材料を混ぜ合わせる。
- ④ ご飯にのせて食べる。

ONE TO ONE の「手作り教育」の実践 横浜デザイン学院

横浜デザイン学院は徒歩で、京浜急行線戸部駅から1分、相模鉄道線平沼駅から5分、横浜市営地下鉄線高島町から7分とどの駅からも近いところにあります。

横浜デザイン学院は、洋裁技術の普及を目指し、1948年横浜市西区に開校した「公認戸部洋裁専門女学院」に始まり、専門学校の創立を経て、2001年「横浜デザイン学院」に校名変更し70年以上の歴史があります。現在は専門学校、高等専修学校、日本語学科を併設し、人材の育成に努めており、現在400名近い学生(高校生、専門学校生、海外30カ国の留学生)が同じキャンパスで学んでいます。

教育理念は、「一燈照隅(いっとうしょうぐう)」「(仕事を通して世のため人のために貢献する生き方こそが一隅を照らすこと)です。

参考: 横浜デザイン学院ウェブサイト <https://www.ydc.ac.jp>

〒220-0051 神奈川県横浜市西区中央1-33-6

TEL: 045-323-0300 E-mail: info@ydc.ac.jp



気になるお店シリーズ 「きじ家」

コロナ禍でお家にいることが増えているこの頃、たまには外食してちょっと贅沢な時間を過ごしたいですね。ここ藤棚にもおいしい和食をいただけるお店があります。その名は「きじ家」さんです。

もともと、女将さんのご両親が戦前に「生地」屋さんを営んでいましたが、お父さんが戦争で亡くなり、戦後、お母さんが飲食業をはじめるとあたり、もともとの商売からもうじて「きじ家」という屋号にしたそうです。当初は、お座敷スタイルで県庁や官庁、裁判所などからお偉いさんが毎晩訪れ、芸者さんも8人ほど抱えて、それは繁盛したそうです。



【きじ家外観】

時代の流れとともに平成6年ごろ、お座敷のスタイルから現在の居酒屋スタイルに変化を遂げました。中央市場で仕入れる新鮮な魚や野菜を女将さんの息子さん（3代目）が手際よく捌いて、季節ごとの色とりどりの料理に仕上げてください。

基本的にはおまかせのコース料理が中心で、1人あたり約7,000円前後、アルコールを入れると1万円くらいが相場だそうです。今月号が出る頃には穴子が旬の終わりをむかえ、秋の味覚に移行する頃だとか。あの菅総理も総理になる前はお忍びでよく来ていたそうです。

店内は十分にコロナ対策※がされています。たまには外食をして気分転換をしてはいかがでしょうか。
※新型コロナウイルス感染状況に鑑み、酒類の提供並びに営業日及び営業時間が変更になる場合があります。詳細はお電話にてお問合せください。また、ご来店の際はマスク着用等、お店のガイドラインを遵守してください。

【藤棚町1丁目58、横浜銀行藤棚支店そば
営業時間：17時～24時、定休日：日曜日 ☎045-231-6826】

昔と今



歴史の街道をテクテク歩く②

今回は、旧東海道に入って浅間神社、追分と松原神社を見ながら、テクテクと歩きました。

○浅間（せんげん）神社

浅間下の交差点で旧東海道に入りました。今日の目的地は金沢横丁の道標です。浅間下公園の中を歩いて右手の階段を上ると浅間神社があります。1080年、浅間町に住む氏神様により創建され、昔はこの丘はもっと高く富士山のような姿をしていました。しかし、戦災で形が変わってしまいましたが、今でも富士塚（浅間山）をご神体として信仰を続けています。全国に約1300社の浅間信仰の神社があり、富士山の山容が眺められる地に多く所在しています。参道の右手に「中道入口」と刻んだ可愛らしい石碑が立っており山の裏手までの細道をお中道として「お中道巡り」が盛んだったようです。



【浅間神社】

○追分



【追分】

浅間神社（袖すり山）を右手に、左手に波の音を聞きながら芝生村のはずれで道が二つに分かれていました。左の海沿いに保土ヶ谷宿方面、右手は八王子宿方面で、八王子宿は江戸から甲州に行く甲州街道にありました。追分は東海道と甲州街道を結ぶ重要な場所で、旅人が行き交う絹の道として山梨の産物が芝生村へ、そして江戸へと運ばれるようになりました。

○松原商店街

戦後のたくましい生命力の中で松原商店街が生まれました。魚の安売りが横浜じゅう広まるようになると、野菜、しょうゆ、生地等のお店が増えてきて横浜のアメ横と呼ばれるようになりました。大正末までは神奈川宿から保土ヶ谷宿までの道中で最も寂しい場所で、白い砂地に人家の少ない広々とした松原でした。

10月号に続く

参考 保土ヶ谷ものがたり／ものがたり西区の今昔



【松原商店街】

横浜市民ギャラリー展覧会 2021年9月~10月

[9月]

- 酔いどれidiotの彷徨と幻影 8/31~9/5
10:00~18:00 ※初日14:30~
- 第63回 太平洋神奈川展 9/1~9/5 10:00~18:00
- 横浜市民ギャラリー U35 若手芸術家支援事業
久保木要個展「WHISPER《RUMBLE》」
9/1~9/5 11:00~18:00
- 第59回全国公募日書家展
9/8~9/13 10:00~17:00 ※最終日~12:00
- 第10回 横濱陶藝倶楽部『卓』
9/14~9/19 10:00~18:00 ※初日14:00~、
最終日~13:00
- 第23回 華の墨絵会展
9/14~9/18 10:00~16:00 ※初日14:00~
- 三軌会 神奈川支部展
9/14~9/19 10:00~17:00 ※初日13:00~、
最終日~12:00
- 新・今日の作家展2021 日常の輪郭 [主催] 横浜市民ギャラリー
9/18~10/10[休]9/20 10:00~18:00
※入場は17:30まで
- 第9回水彩連盟 神奈川支部展 9/21~9/27
10:00~17:00 ※初日14:00~、最終日~13:00
- 第60回アーネスト美術展
9/21~9/26 10:00~18:00 ※初日13:00~
- 第53回 神奈川現展 9/28~10/4 10:00~
17:00※初日14:00~、最終日~13:00

- 第一美術協会 第43回 湘南支部展
9/28~10/4 10:00~17:00 ※初日15:00~
最終日~12:00

[10月]

- 第1回京都芸術大卒・外苑キャンパス展
10/5~10/10 10:00~18:00
※初日14:00~、最終日~15:00
- 風景スケッチ展
10/5~10/10 10:00~17:00
※初日13:00~、最終日~16:00
- 第51回文化書道神奈川県連合会書道展
10/13~10/16 10:00~17:00 ※最終日~
13:00
- 2021年第32回神奈美会員展
10/12~10/17 10:00~17:00
※初日14:00~、最終日~12:00
- 第14回 え塾展
10/20~10/24 10:00~17:00 ※最終日~
13:00
- 浜悠書道展
10/20~10/24 10:00~17:00
- 第24回 浄雲会 佛像彫刻展
10/20~10/24 10:30~17:00
- 第33回 雨聲会横浜書展
10/20~10/24 10:00~18:00
- 春陽会神奈川研究会展
10/27~10/31 10:00~17:00

<お願い>新型コロナウイルスの影響により、展覧会が中止・延期になることがあります。ご来館前に横浜市民ギャラリーのHPまたは電話にて最新情報をご確認ください。

<お問合せ先>横浜市民ギャラリー 〒220-0031 横浜市西区宮崎町26番地1 連絡先 TEL 045-315-2828 / FAX 045-315-3033

カフェ ターブルドート



Table d'Hote

〒220-0055

横浜市西区浜松町1-19

TEL/FAX:

045-315-6661

http://

www.tabledhote.jp



藤原司法書士事務所

藤原司法書士事務所



相続・遺言その他の法律問題、
お気軽にご相談ください。

☎ 045-620-9477

http://fujiwara-shiho.com

【発行】藤棚新聞 〒220-0041 横浜市西区戸部本町17番2号201号

【TEL】045-620-9477 【FAX】045-620-9539 【メール】fujidanano@jcom.zaq.ne.jp

【ホームページ】<https://fujidananews.jimdofree.com/>

